

北海道新聞

The Hokkaido Shimbun Press

欲しい情報 今すぐに・・・
データベース検索

ホーム サイトマップ 天気 お知らせ・新着

Webニュース検索

検索

トップニュース

トピックス

バックナンバー

社会

釜山アジア大会

スポーツ

コンサドーレ

政治

経済

農林水産

国際

道内各地の動き

暮らし・住まい・福祉

教育・文化

環境・自然

トピックス

English News

訃報

社説

卓上四季

ヘッドライン

石狩川 夏

天塩の川下り

天塩川
カヌーツーリング

新観光北海道

もっと北海道

市町村イベント案内

北海道212市町村情報

ホーム サイトマップ 天気

存続の願い乗せ、ふるさと銀河線に999列車 松本零士さん、無償で図柄 【写真】
2002/09/25 08:30

【北見】道内唯一の第三セクター鉄道「ふるさと銀河線」（北見市—十勝管内池田町、百四十キロ）に十一月下旬から、漫画家松本零士氏のアニメ「銀河鉄道999」のキャラクター列車が登場する。北海道ちほく高原鉄道（本社・北見市）が二十四日発表した。松本氏のアニメを使った列車の運行は全国で初めて。

毎年四億円前後の赤字を出し、存続問題に直面している銀河線を盛り上げようと、沿線一市六町の住民や行政、議会で作る「ふるさと銀河線振興会議」が松本氏に要請し、同氏が特別に作品を無償で製作した。

テーマは「夢をだいて走る宇宙」。星が輝く宇宙を背景に、主人公の「メーテル」が髪をたなびかせ、「鉄郎」が後ろで笑っている図柄だ。原画をフィルムに写し、所有している

列車十両のうち、一両または二両に張り付ける計画。フィルムなど費用は一両当たり約五十万円。完成後、松本氏を北見に招きテープカットを行う予定だ。

同社の神田孝次社長（北見市長）は「多くの人に銀河線を愛用してもらいたい」と、キャラクター列車登場に存続の願いを込めている。

松本氏は銀河線のファンで、毎年沿線で開かれるウォーキング大会では、「銀河鉄道999」のロゴをパンフなどに無料使用できる便宜を与えている。

<写真：松本氏の「銀河鉄道999」の原画を披露する神田社長>

トピックス

- ◆ [ゴルフ場は“人間劇場” 裏方から見た逸話を1冊に 北広島島の榎温さん【写真】\(15:00\)](#)
- ◆ [キラキラ水のカーテン 旭川の旭橋【写真】\(02:01\)](#)
- ◆ [NPO専門誌1日創刊 全国初 道サポートセンター\(10:30\)](#)
- ◆ [伊達市AETが黒帯取得【写真】\(02:01\)](#)

北海道新聞ホームページに掲載されている記事、写真の無断転載・2次利用を禁じます。記事・写真の再利用に関しては「[掲載記事・写真の再利用について](#)」、個人情報保護に関しては「[個人情報の取り扱いについて](#)」、リンクに関するお問い合わせは「[リンクについて](#)」をご覧ください。

お問合せ先、ご意見の受付先については「[新着・各種情報](#)」のページの最下段をご覧ください。

Copyright(c)1996-2002 The Hokkaido Shimbun Press.